

●令和7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状値	単位	本年度の目標値
47201那覇市	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	これまで、市内53校区中、3校区で地域学校協働活動を実施。今後、市内全校区で協働活動が実施できるよう展開していくためには、学校支援ボランティアの確保が課題である。	・地域学校協働活動推進員の配置を3名から17名に増員し、新たに協働活動を実施する校区の学校支援ボランティアを確保する。 ・推進員同士の連絡会を年に2回以上実施し連携を図る。	令和6年度は、地域学校協働活動推進員1名から3名に増員し、学校支援ボランティアの確保を図り、新たに2校区で協働活動を実施することができた。また、推進員同士の情報交換会等の実施により、学校支援ボランティアの共有ができ、活動の充実や推進員の資質向上につながった。引き続き、全校区への推進員配置に努め、推進員同士の情報交換会等を実施し、学校支援ボランティアのネットワークを構築していく。	推進員を増やし、推進員同士で連携を図ることで、学校支援ボランティアの確保につながり、充実した協働活動の実施ができる。	学校支援ボランティア登録者数	162	人	764
47201那覇市	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	子どもたちの安全・安心な居場所として放課後子ども教室を実施しているが、全小学校区で実施できていないのが課題である。	全小学校区で放課後子ども教室を実施するため、未実施校区を中心に放課後子ども教室についての説明を行う等周知に努め、地域の関係者・関係団体等に対し協力を求める。	令和6年度は、校区の協議会等を利用して「放課後子ども教室」の周知に努め、児童クラブや文化保存会等の団体から協力を得ることができた。令和7年度についても、校区ごとの協議会等を通して事業の周知を図るほか、すでに地域で活動されている方等を通して人材の確保に努める。	全小学校区にて放課後子ども教室を実施し、子どもたちに対して、学習支援やスポーツ、伝統文化活動、地域住民との交流活動等、多様な学びの機会を提供することで、安全・安心な放課後の居場所づくり、および子どもたちの健全育成に寄与する。	放課後子ども教室を実施している小学校区	32	校区	36

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。